

パキスタンの若者と交流 高校会議所がオンラインで

富士宮高校会議所は、このほど、パキスタンの若者たちとオンライン交流した。西町レトロ館に海外交流委員長で副会頭の市川杏さん（星陵高3年）、会頭の渡井美結さん（富士宮北高3年）、会員の佐野

千春さん（同2年）が集まり、画面越しに英語で意見交換した。

グローバルな視点を伸ばすために市川さんが発案し、具体的な取りやコーディネートは鈴木祐太郎さん（JTRコーポレーション代表取締役）が担った。

パキスタンからは15〜22歳の6人が参加し、自己紹介を手始めに、双方の食文化、名所などを紹介したほか、趣味や特技も交えて和やかに懇談した。パキスタンのカガン渓谷の美しさや日本の富士山の雄大さ、伝統的な踊りや料理など、自慢の名物を比べ合い、両国で共通した人気の日本アニメの話で盛り上がったという。

交流を終えて「今後のインバウンド、アウトバウンドの増大を鑑み、海外の人たちとの交流をさらに広げていきたい」と報告した。



画面越しにオンライン交流（提供写真）